

順位	氏名（議席）	発言の要旨
21	福永 意人（1）	1. 富士市職員配置適正化計画について 少子高齢化や人口減少、経済構造の変化、デジタル化の進展など、行政経営が大きな転換を迫られる時代となった。このような状況下、国や地方自治体の行財政改革の一環として職員の削減が進められてきた。 本市では、平成17年度から行財政改革の取組の一つとして富士市定員適正化計画が策定され、職員数の削減を推進してきた。現在では、計画の視点が職員数を対象とした「定員適正化」から職員の任用形態や勤務形態等を含めて対象とする「職員配置適正化」へと広げられ、令和4年度から令和8年度までを期間とした富士市職員配置適正化計画によって、総労働時間の縮減による総人件費の抑制が目指されているところである。本計画について、以下3点伺う。 (1) 富士市職員配置適正化計画の進捗状況と計画達成に向けた見込みはいかがか。 (2) 業務の見直しについてはどのようなプロセスで実施しているのか。 (3) 現在の職員数と業務量のバランスは適正であると考えているか。